

Peace Wanko News

ピースワンコ・ジャパンは支援してくださる多くの方とともに、殺処分機の最後の一台を止めるまで活動を続けます。



OPEN THE WAN FUTURE
さあ、犬と人がひとつになり、豊かな未来をつくろう

殺処分ゼロへ 思いと力を結集して 2023年もチャレンジ

ピースワンコ・ジャパンが犬の「殺処分ゼロ」に本格的に取り組み始めて、10年がたちました。多くの方々のご協力を得て7,000頭以上を保護し、3,500頭以上の命を新しい家族につなげてきました。かつて犬猫の殺処分数が全国最悪だった広島県の殺処分機（ドリームボックス）は、すでに7年間止まっています。

活動は試行錯誤の連続でした。手本にしたのはドイツの保護施設ですが、犬との付き合い方に関する「文化」に日本との大きな差を感じました。当初は寄付集めにも苦労し、犬舎の建設資金が重い負担になりました。

2016年には、ドリームボックスの稼働を止めるため、年1,000頭をはるかに超える犬の引き取りが始まりました。スタッフの増員が追い付かず、感染症との闘いや、心ない中傷もあって、苦しい時期が続きました。

それでもあきらめずに踏ん張れたのは、「1頭も見捨てない」という決意に加え、支援者のみなさまからの強い期待と励ましがあったからです。増え続けてきた保護頭数が



減少に転じ、犬舎も落ち着きを取り戻しました。法律の改正などを経て、社会全体の意識も変わりつつあります。

私たちがいま特に力を入れるのは、「野犬」と呼ばれる犬たちをトレーニングし、家庭に迎えていただくことです。自治体の施設に収容される犬の多くが野犬である以上、本気で殺処分をなくそうとすれば、野犬と向き合うことを避けては通れません。

最初はおびえや警戒心が強くても、心を通わせ手をかけることで、彼らはとても魅力的なパートナーに変わります。そんな「元野犬」との素晴らしい出会いを、より多くの方に体験していただくことが、犬と人の幸せを願う私たちの目標です。

たった3人のスタッフから始めたピースワンコで、現在は150人が働いています。継続的に活動を支えてくださるサポーターは5万7,000人を超えました。みなさまの思いと力を結集し、日本全国での「殺処分ゼロ」実現に向けたチャレンジを、今年も続けます。

✿ 野犬とは...

何らかの理由で飼い主が居なくなった野良犬が野山などで繁殖し、野生化した犬たちのことです。私たちが保護する犬のほとんどはこの野犬です。人に馴れていない子が大半ですが、信頼関係を築けるよう日々根気強く向き合っています。

